

26PW-am009

(±)-ヘデラシンA及びBの合成研究

○山下 哲也¹, 山下 美帆¹, 山崎 直毅¹, 青柳 榮¹, 樹林 千尋²(¹東京薬大薬, ²日本薬大)

【目的】シソ科植物カキドオシ *Glechoma hederaceae* L.から単離されたヘデラシンA及びBは、トロパンとシクロペンタンが融合した特異な構造を有し、近年、結腸癌に対する抗腫瘍活性が報告されているアルカロイドである。今回我々は、両アルカロイドのラセミ体での全合成を目的として検討を行った。

【方法と結果】ペンタレノン誘導体 **1** より立体選択的に合成した **2** をエンイン化合物 **3** に誘導し、閉環メタセシスを行うと高収率でアミノオクタヒドロアズレン中間体 **4** を合成することができた。得られた **4** より、ヘデラシン骨格を有する **5** の合成は種々検討の結果、フラノン環形成の後、分子内 N,O-アセタール化による渡環反応を経て達成された。現在、シクロペンタン環上へのアミノ基導入による全合成完成を目指して検討している。

